

柳津小学校だより

鳴神山



2020, 10, 8 No. 27

柳津町立柳津小学校

発行者 校長 星 潔



明日は「秋の遠足（やないづクエスト）」です！

いよいよ明日は「秋の遠足（やないづクエスト）」です。柳津町での初企画の全校行事ということで、子どもたちの笑顔が輝くように教職員一丸となって準備をして参りました。明日は当初の1～4年生での遠足同様、4年生が班長、副班長になります。5, 6年生はアドバイザーとして活動のサポートをします。教職員は安全面、感染症対策面、ルール面、時間の管理などの対応に徹し、コースを決めたり、ミッションを解いたりすることは縦割り班の子どもたちで考えさせます。ミッションの中にはただ問題を解くだけではないものもあります。明日日本番ですので、詳細は記述できませんが、それぞれの学年だけのミッションも用意しています。子どもたちが協力して、町内を歩き、柳津町のよさやチーム柳小2020のよさを改めて感じ、満足感、達成感、意欲、自己肯定感などを大きく伸ばしてくれると信じています。準備物等でご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

＜あすの準備物＞

- 運動着（長袖と半袖で調節をする） ○紅白帽子 ○履きなれた靴 ○リュック
- ・ハンカチ ・ティッシュ ・マスク ・お弁当 ・ごみ袋 ・おしぼり ・タオル
- ・水とう等 ・ビニール袋 ・敷物（シート） ・雨具（小雨決行です）
- ・筆記用具、探検バック（4年生班長のみ）

宿泊学習（5年生）

9月30日（水）～10月1日（木）の日程で、5年生が西山小学校と一緒に会津自然の家に宿泊学習に行ってきました。コロナウイルス感染症の影響で実施が心配されましたが、自然の家での感染症対策や宿泊団体が柳津・西山連合小学校だけだったことなどから実施することといたしました。私も初日の夕方、子どもたちの様子を見に行ってみました。学校を離れての体験活動を通して、子どもたちは一回り大きく成長した感じがしました。何より笑顔と意欲が素晴らしかったです。これからこの学習を通して、学校の中心として大きく活躍してくれると思います。



サイエンスショー

10月5日（月）に柳津町教育委員会主催で「らんま先生のおもしろサイエンスショー」が実施されました。子どもたちは目の前で繰り広げられる、らんま先生の科学実験に目が釘付けでした。代表児童や教師が実験に参加したことも盛り上がりました。何より最後の「空気砲」では子どもたちから大歓声があがりました。やはり本物を目の前で見ることができる学習は、子どもたちにとって欠かすことができないものだと思います。子どもたちだけでなく私にとっても貴重な体験となりました。企画してくださった町当局に心より感謝いたします。そしてらんま先生、お忙しい中ありがとうございました。



校長のひとりごと

今年の2学期の始業式で「チャレンジ2学期」に向かって頑張っていきたいという話を子どもたちにしました。先日の「柳小オリンピック2020」が終わった後、5年生では「チャレンジ」という題名で週末の条件作文が宿題に出されました。担任よりその内容を見せてもらいました。そこには子どもたちの強い思いがあふれていました。以下、数人の作文を抜粋してみます。

- ・チャレンジすることで、たくさんの経験をすることができる。つまりチャレンジすることで、自分が今までできなかったようなことができるようになるのだ。（遼さん）
- ・このように目標を立ててがんばって跳べば、目標を達成できます。つまりあきらめない気持ちを持つことが大切ということなのです。（虎太郎さん）
- ・一回目の失敗を反省して、二回目は助走の距離を長くして走ったから記録を残せた。つまり、失敗を生かして次に臨むことが大切なのだ。（麗那さん）
- ・チャレンジすると失敗してもまた目標ができます。つまり、チャレンジして、本気になって頑張ることは、新しい自分につながるのです。（友香さん）

紙面の関係で全部紹介できませんでしたが、他の5年生も本当にいいことを書いていました。また他学年も同じような気持ちを持っていると思います。私たちは将来に向けて失敗してもくじけないで挑戦する気持ちを子どもたちに持たせたいと思っています。私自身もいろいろと考えることもありますが、チャレンジ心を忘れることなく、積極的に挑戦していく強い気持ちを、改めて子どもたちの作文からもらいました。